



山武市は全国有数のねぎの産地

業者育成事業補助金がありません。この補助金は、認定農業者が機械等を購入するときの経費の一部を補助するものです。

Q 認定農業者に対する補助金は市としての予算は足りておりますか。

A 経済環境部長 補助交付要件は、1件につき上限額を25万円、または事業費の10%以内のいずれか低い額です。認定農業者も増加し、希望者も多いことから、平成22年度予算は、100万円増額の700万円で現在調整しております。

●市長の今後の市政について

Q 来年4月より成東病院は、仮称でありますか、

さんむ医療センターと名称を変え、新たな形で出発いたしますが、医師の確保や看護師の確保は大丈夫でしょうか。

A 市長 全力を尽くして、

現在、成東病院におります医師、看護師とできる限り一緒になって、みなで新しい病院を成功させていきたいと、このように考えています。

Q 市長は情熱と結束で私たちの山武市をスローガンに、自主独立のまちづくり、地域の伝統を大切にす

まちづくり、開放感のあるまちづくりを目標といたしました。目標は達成できたでしょうか。

A 市長 何とか達成できたものもありますし、まだ道半ばのものもあります。残念ながら、取り組みなかつたものもあろうかと思

います。満足とはいきませんけれども、それなりにやってきたと考えております。

Q 山武市づくりの先頭には実行いたします。建設的な御意見に反応します。この3

つが市長になる前の約束事でありましたが、市民に約束を果たせたと思えますか。

市長 政治的な姿勢だと思っております。それはしっかりとそのとおりやってきたと思っております。

Q 自分自身を評価するとしたら、何点ぐらいおつけになりますか。

A 市長 点数をつけるとはまいませんけれども、自分なりに頑張ってきたと思っています。

Q 確認をさせていただきませんが、来年4月の市長選挙に正式な立候補宣言として受け取ってよろしいか。

A 市長 そのつもりで答弁させていただきます。

Q 今後の目標や約束事の公約とするものをどのよう

に示していくのか。市長 山武市の方向づけをしておりま

す。総合計画その他をもととしてしっかりと山武市の将来を築いていくということになろうかと思

個人質問



議員 眞 蕨

●独法化後の成東病院について

Q 現在の診療科は18科で、産婦人科は休診、泌尿器科と耳鼻咽喉科は常勤医が不在で外来のみとなっている。この4月からも、この体制でスタートするのか。特に産婦人科は中期目標4年間のなかで、どうするのか。

A 市長 現在の診療科を基本的に継続する。産婦人科の医師が二人そろって、はじめて再開できる。まず、内科の充実に力を入れ、その後産婦人科の再開を目指していく。

Q 二次救急医療機関としての使命を果たし、住民が安心できる救急医療体制の充実に図るとしているが、具体的はどうするのか。また三次救急の搬送先などの対応は

A 市長 本来、成東病院が力を入れなければならないのは、二次救急の部分であ

り、そこを中心にして充実していく。三次救急については、当然、九十九里地域医療センターができれば協力関係を構築していかなければいけないと思

Q 優秀な医師、看護師の確保に努めるとしているが、中期計画では具体的な数値目標を設定するのか。また、看護師が足りないということだが何人足りないのか。独法化にともない退職される看護師はどの程度か。

A 副市長 現在、確保のため

の具体策として寄附講座や奨学金制度を検討している段階で、数値目標は決めている。看護師についても、独法化の詳細が固まり切れていないため、職員の疑問に答え切れず、人数的な把握はできてない。看護師があと何人必要かも、まだ病院から聞いていない。

Q 8月1日現在で成東病院の看護師は、正看護師が101名、准看護師が24名とな

っている。今現在でも恐らく20名、30名ぐらいは足りないのではないのか。募集をしてもほとんど応募がなく、しかも独法化に伴ってやめる看

